



沖縄県病院事業局

沖縄県立病院群

広大なフィールドが
あなたを待っています



沖縄県立病院 病院事務職
業務ガイダンス

2026
OKINAWA

Today's Schedule

沖縄県立病院 病院事務職 業務ガイダンス

沖縄県病院事業局 管理課 人事班

- ・ 主な担当業務は「人材確保」
様々な職種の就職説明会や学校等を訪問し、県立病院職員として働く魅力を発信しております。
- ・ 採用試験の実施に伴う様々な調整を行っております。

02 沖縄県の医療圏

南北：
約 400km



東西： 約1,000km

03 沖縄県立病院の配置

沖縄県立病院”群”

**5 つの総合病院
1 つの精神科単科病院
16 の離島診療所**

病床数：2,159床

總職員定數：3,175名
(事務職現員：**232名**)



救急医療

高度・特殊医療

離島・へき地医療

周産期医療 …等

収益性等の面から、
民間医療機関では対応が困難な
医療の提供

地域医療を支える「最後の砦」として、
「断らない医療」を提供しています

05 病院事務職とは？

病院経営の
スペシャリスト！



- 「病院事務職」は、県立病院の管理部門（経営・企画・財務・医事・人事など）や本庁機関において、医師、看護師、コメディカル職などの専門職と連携しながら、経営戦略の立案、事業計画の策定、業務改善の提案、財務会計の見直し、在庫管理の強化、組織の活性化、人材育成など、病院経営の基盤を支え、経営の安定や収益向上などを担う総合職であります。
- 「病院事務職」として採用された人材は、各県立病院や病院事業全体の経営方針の企画。立案に携わる病院経営のスペシャリストを目指すことが期待されています。



総務課

採用退職に係る人事管理、給与計算等の労務管理、健康管理など、職員の服務や福利厚生等に関する業務。

区分	項目	主な業務内容
労務	給与	給料、手当、報酬等、認定業務
	人事	人事管理(採用、退職、職員履歴)、労務管理(出退勤、休暇、時間外、労働安全衛生)
	服務	休職、復職、分限、懲戒
庶務	庶務	文書受付、各種申請(医療法等)、調査報告
	旅費	一般旅費、赴任旅費、研修旅費
	福利厚生	各種保険加入喪失手続き(地共済、社会保険、雇用保険)、職員検診、職員ワクチン
		公務災害、労務災害、ストレスチェック、ハラスメント相談
	研修	職員研修、臨床研修
	契約	予算管理、予算執行、価格交渉、各種契約(委託料、賃借料、その他契約事務)
	委員会運営	治験委員会、倫理委員会、衛生委員会、ハラスメント委員会、負担軽減委員会
	その他	院内保育園、医療訴訟、病院イベント等

他職種との関わりも多く、幅広くオールマイティな視野を人材になれる部署

06-① 幅広い経験（事務部門の業務内容）

経営課

病院収支計算や分析、日々の現金や預金の入出金管理、予算執行、資金管理等の病院経営等に関する業務。

区分	項目	主な業務内容
経営管理	経営計画	計画策定、計画進捗管理、計画見直し
	経営分析	収支健全化の企画立案、財務諸表分析、原価計算管理、各種データ分析
予算経理	予算	予算管理、予算要求、執行計画、資金管理
	決算	決算、監査、各種統計
	歳入	調定、収納、国庫補助、繰入金
	歳出	予算執行、契約、支払

予算管理や決算等の財務や経営のスペシャリストな人材になれる部署

06-① 幅広い経験（事務部門の業務内容）

医事課

病院の顔として、保険診療、診療報酬に関する請求事務等に関する業務。

区分	項目	主な業務内容
医事算定	医事	施設基準、DPC、受付、患者管理、算定、診療報酬請求、返戻査定請求 医事統計、医事マスタ管理、各種請求(診断書、証明書)
	未収金	徴収、督促、相談、個別訪問、各種通知書発行、未収金管理
	公費	各種公費制度説明、申請、医師の意見書交付、申請業務、助成制度
	ドクタークラーク	業務管理、研修、指導
	診療情報管理	カルテ管理、カルテ開示、がん登録、文書管理
	契約(医事)	予算管理、予算執行、価格交渉、各種契約(予防接種、妊婦検診等)

・病院収益に係る保険請求等の全般を担うエキスパートな人材になれる部署

06-① 幅広い経験（事務部門の業務内容）

設備・調達課

病院内の各種設備等の日常点検や物品調達を行い、
快適で安全な環境整備に関する業務。

区分	項目	主な業務内容
物流	診療材料	診療材料管理、予算執行、価格交渉、契約、支払
	薬品	薬品管理、予算執行、価格交渉、契約、支払
	消耗品	消耗品管理、予算執行、価格交渉、契約、支払
施設管理	施設	施設の維持管理、保守、修繕、行政財産使用許可
		BCP、消防訓練等の各種訓練
		予算管理、予算執行、価格交渉、各種契約(工事、修繕関連等)
	医療機器	医療機器の維持管理、保守、修繕
		予算管理、予算執行、価格交渉、各種契約(医療機器関連等)

病院運営に必要な物品調達に係る物流や設備維持管理等に関する契約等のプロフェショナルな人材になれる部署

沖縄県立病院職員は、地方公務員法の適用を受ける公務員

給与・手当は法や条例等で規定

毎年の昇給、年2回の賞与、
時間外手当、住居手当…

法定の休業制度はもちろん、福利厚生も充実

年20日の有給、5日の夏期休暇、
子の看護休暇…

結婚、子育てなどのライフイベントにも
安心して向き合うことができます

06-② 2025年度の採用条件

広域異動職員（全沖縄県立病院が異動対象。）

●初任給（大卒初年度の場合）

基本給 232,000円

●主な手当

通勤手当、住居手当、時間外勤務手当、
休日勤務手当、夜勤手当、扶養手当、
特地手当（離島勤務時）など

●昇給：年1回定期昇給あり（4月1日）

●期末・勤勉手当：年2回（6月と12月）

※採用初年度の6月は在職期間に応じた支給となります

●有給休暇を除く年間休日数 約120日

- ・週休日104日（4週8休）
- ・休日（国民の祝日、年末年始、沖縄県慰靈の日）
※休日に勤務が割り振られた場合、代休を取得

●有給休暇（主なもの）

- ・年次休暇（年20日）
- ・病気休暇
- ・生理休暇
- ・産前・産後休暇
- ・子の看護休暇
- ・慶弔休暇

★条件・金額は2025年度のものであり変動することがあります。

★初任給は各人の大学卒年数や採用前の職歴等により変動します。

沖縄県立病院は「沖縄県」の組織

定期人事異動による勤務環境の変化

人間関係に縛られず、
多くの同僚に出会うことができます。

病院の枠を超えた交流

県の事務職員や県立学校の職員との
サークル活動など

その人に応じた
人間関係をつくることができます



宮古島

07 病院事業局長のご紹介

[ホーム](#) > [病院事業局について](#) > [局長あいさつ](#)



自己紹介

私は令和5年4月1日に沖縄県病院事業局長を拝命した。昭和56年に大阪大学医学部を卒業後、直ちに県立中部病院で卒後医学臨床研修を開始した。1年間のローテートインター、3年間の一般外科研修を終了し外科スタッフに採用された。その後は同院で一般外科、心臓血管外科の診療に従事し、平成28年に県立八重山病院に副院長として赴任した。その年の7月に八重山群島は大型台風に見舞われ、老朽化した八重山病院も大きな被害を受けた。視察に見えた県知事の決断で新築建替えが決まり、2年間の八重山病院勤務で新病院の設計に携わる経験ができた。そのときの方針は、災害、特に台風に強い病院、新興感染症に対応できる病院作りであった。令和2年からの新型コロナ感染症は世界を未曾有の恐怖に陥れたが、八重山病院は県立病院で唯一施設としてこの感染症に対応できたのではないかと思う。

県立病院全体を見ると、令和3年から4年にかけての中部病院のコロナ感染症クラスター問題対応について病院現場と病院事業局で認識の違いが生じ、県議会やマスメディアで大きく取り上げられていた。コロナ患者特に重症患者を引き受ける県立病院現場と病院事業局で連帯感が醸成できないまま、現場の医療従事者には疲弊感が増し、病床縮小、閉鎖へつながり病院の経営にも悪影響が出始めた。これまで歴史的にも沖縄県の医療の屋台骨である県立病院存続に県知事、副知事は強い危機感を感じていたようで、そんな中の、局長指名であった。